

2023年4月3日

株式会社エスユーエス

「メタバース・トラスト・ステートメント京都宣言」 に準拠したメタバース開発、サービス提供

株式会社エスユーエス(本社：京都市下京区、代表取締役社長：齋藤 公男)は、2023年3月15日(水)に京都府より発表された「メタバース・トラスト・ステートメント京都宣言」の検討に関与し、同宣言に準拠したメタバースの自社開発やサービスの提供を行うことで、お客様に対して、より安全で最適な最先端技術活用の提案を行う方針を固めました。エスユーエスは「メタバース・トラスト・ステートメント京都宣言」の検討のための「京都府メタバース検討会」にも参加しております。



METAVVERSE
Trust Statement Kyoto

【メタバース・トラスト・ステートメント京都宣言について】

※京都府公開資料より

趣旨・宣言策定の経緯

メタバース・トラスト・ステートメント京都宣言

メタバースは、空間を超えた交流や現実世界にはない新しい体験、ビジネスチャンスの拡大等に繋がるテクノロジーですが、アバターへのハラスメントやデジタルアセットの盗難、空間のなりすましなどのリスクも潜んでいます。

そこで、業界団体・企業等で構成する「京都府メタバース検討会」にて議論を重ねた上で、一般社団法人CiP協議会(※)と府が中心となって、「メタバースの制作や活用に関わる方々が、セキュアで信頼できるメタバース空間づくりを自主宣言する指針」として策定しました。

※「コンテンツ×デジタル」産業の拠点形成を目的に、通信、放送、IT、コンテンツ、エンタメ、不動産等の関連企業が参画し、設立。本協議会の中村伊知哉氏は、内閣府知的財産戦略本部「メタバース上のコンテンツ等をめぐる新たな法的課題への対応に関する官民連携会議」の座長を務める。

京都府メタバース検討会

■メンバー：メタバース業界団体、教育・観光・ものづくりなどでの活用を目指す企業など

ANA NEO、エスユーエス、NTT QONOQ、NTTコミュニケーションズ、京都産業21、京都市、京都府、京都フラワーツーリズム合同会社、京都府立大学大学院、京都文化NFT、CiP協議会、松竹撮影所、iU情報経営イノベーション専門学校、Skeleton Crew Studio、スターマーク、ZOAN JAPAN、テルモビレー、テレコムスタッフ、東映、トーセ、ドコモ gacco、西村兄妹キモノ店、日本デジタル空間経済連盟、PwCコンサルティング合同会社、メタバース、メタバース推進協議会、ワントゥーテン(五十音順)

■開催結果

第1回
(令和4年7月22日)
【メタバースにおける課題の共有】

- ・信用力のあるメタバース空間づくり
- ・トラスト(信用)を担保する仕組みを作ることが大事

第2回
(令和4年12月2日)
【素案提示後、意見交換】

- ・目的の整理(なぜメタバースか、メタバースで何をしたいのか)
- ・規制ではなく、理念を示すこと

第3回
(令和5年3月15日)
【宣言の最終確認】

安全性・信頼性の高いメタバース空間づくりを促進するための宣言

メタバース・トラスト・ ステートメント京都宣言

京都府と一般社団法人CiP協議会では、メタバースの制作や活用に関わる方々が、セキュアで信頼できるメタバース空間づくりを自主宣言する指針として、「メタバース・トラスト・ステートメント京都宣言」を策定しました。

自由で オープン 01

世界中の誰もが自由にオープン参加可能なメタバース空間の提供と素晴らしいイノベーションの創出を目指します。

伝統、 地域 02

日本の長い歴史や伝統に根差した文化の重層性や多様性を発揮するとともに、地域固有の価値を互いに認め合う「場」として進化します。

海外 03

国内外の人々と、距離、時間、費用、言語の制約なく価値を共有できるコンテンツづくりを進めます。

若者、 子ども 04

暴力的・性的表現や誹謗中傷、社会の分断化等の負の影響に対する十分な配慮により、安全・安心なメタバース空間を実現します。

高齢者、 障がい者 05

一人ひとりのライフスタイルやニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる人に優しいメタバース空間の実現を目指します。

技術、 研究 06

データをオープンな形でシェアすることで、時間と空間を超えたオープンイノベーションによるテクノロジーの追求と開発を進めます。

トライ& エラー 07

「リアル」と「バーチャル」の両面から、メタバース空間における最適な技術の普及促進に向けた実証を推進します。

セキュア& トラスト 08

メタバース空間の価値を最大化するために必要な、プライバシーやサイバーセキュリティ等への適切な対応により信頼の維持・構築に努めます。

モラル 09

データの真正性や正確性に責任を持ち、継続的な相互調整を担い、公正なメタバース社会の実現を目指します。

未来 10

全ての人とモノが国境を超えて、知識や情報が共有され、新たな価値を生み出すことが可能なメタバース空間の未来を創出します。

▼ ロゴマークについて

メタバース空間で、多様な価値を共有し、新たな可能性を広げる

キーワード

「人」「価値の共有」「誠実・安心」

メタバース空間は世界中の人と自由につながり、様々な技術や情報・知識・多様な価値観を共有することができる場です。

メタバース空間で世界中の「人」とつながり、多様な物事を「共有」し、ものづくり世界の新しい可能性を広げてほしいとの意味を込めて、「人」「価値の共有」「誠実・安心」をキーワードとしてロゴマークを作成しました。



※「メタバース・トラスト・ステートメント京都宣言」の遵守を宣言する方は、ロゴマークを自由にご使用（複製、公衆送信等）可能です。

形 同じ形の「人」を重ねることで、公平に「共有」「分け合う」ことを表し、ロゴマークのシルエットがメタバースの頭文字「M」に見えるように形をまとめました。小さく掲載した場合でも形がわかりやすく、すっきりした印象になるようにしました。

色 安心・公平・信頼のイメージのある青を基調に、最先端をイメージした鮮やかな配色で作成しました。グラデーションで色をつけることで、様々な価値が混ざり合っており、新たなひとつの形を生み出すことを表しています。

【京都府公式発表ホームページ】

<https://www.pref.kyoto.jp/sangyo-sien/metaversetrust.html>

【エスユーエスのサービス紹介動画】

<https://www.youtube.com/watch?v=ULsCe2EXofs>

■エスユーエスについて

本店所在地	京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町 8 京都三井ビルディング 5 階
代表者	代表取締役社長 齋藤 公男
設立年月日	1999 年 9 月 1 日
資本金	4 億 3,209 万円 (2022 年 9 月 30 日現在)
事業内容	■ IT 分野・機械分野・電気/電子分野・化学/バイオ分野における技術者派遣・開発請負 ■ AR/VR 教育および AR/VR ソリューション開発・販売 ■ AI 教育および AI ソリューション ■ ERP 分野におけるコンサルティング・システム開発・導入支援 ■ その他 IT を活用したサービス事業
URL	https://www.sus-g.co.jp/
お問い合わせ窓口	総務部広報担当 (Mail : soumu@m.sus-g.co.jp / Tel : 075-229-7407)